

編集後記

編集長 東野 定律

平成27年度も残すところ数日となり、3月17日に学位記授与式が行われ、本学部からも99名の卒業生が新たな門出に向かって、一步を踏み出すことになりました。

学位記授与式での鬼頭学長および本庄理事長の講話の中で、今後の日本には様々な課題ありそれを克服することが求められるという内容のお言葉が随所にありました。

目標に向かって努力するという姿勢が個々に求められる時代を生きていくことになるのだと強く感じたメッセージでしたが、同時に大学に求められるものも時代によって変化するものであると認識させられました。

年々、多くの新たな課題を抱えていく社会において、新たな手法や考え方で解決する人材を育成する必要性がますます高くなっているといえます。

そのような中、本年度をもって、小林みどり教授、末松俊明准教授が定年退職されましたが、お二人の先生方には、まだまだ教えて頂きたいこと、学びたいことが沢山あるような気がしてなりません。今後とも長年の経験から得られた様々な解決策や見識についてご指導ご鞭撻いただけることを切に願っております。